

確定拠出年金
連絡会議

第 4 回
平成15年1月17日

資料3

第四回確定拠出年金連絡会議

日商岩井の退職金制度

「21世紀型の退職金制度の構築」

日商岩井株式会社

2003年1月17日

1. 「21世紀型の退職金制度」構築を目指した背景

① 基金運用の低迷(将来的にも不透明)と会計基準の変更

- ・ 1999年度および2000年度の運用利差損
- ・ 先の見えない金利、株式情勢
- ・ PBOの割引率変化による未認識数理債務の拡大
- ・ 企業業績に与える影響



コントロールできない経営要素からの脱却



将来発生が予想される更なる債務からの脱却

1. 「21世紀型の退職金制度」構築を目指した背景

② 自律的な社員を育成するという成果主義人事制度の考え方に適合する制度



自己責任のもと、資産の運用における裁量幅を拡大



個人のライフスタイル、価値観に対応した選択が可能

③ 分社化や事業持株会社移行後のグループ人材流動化の確保に適合する制度



グループ内の人材流動の際に勤続年数による不利益がないこと



ポータビリティを有する制度とすることで、グループ内の移動によりキャリアを自律的に形成することが可能

2. 「21世紀型の退職金制度」構築のコンセプト

